

おうらまち

議会だより



中野幼稚園の夏祭り

平成25年 5月臨時会・6月定例会

一般質問 【7人の議員が町の考えを問う】

大野貞夫議員、坂井孝次議員、神谷長平議員、原 義裕議員
小島幸典議員、塩井早苗議員、小沢泰治議員

- 新しい議会構成…………… 2
- 可決された議案…………… 3
- 一般質問…………… 3～9
- わたしのふるさと等…………… 9～10

No136

就任あいさつ

議長 本間 恵治 60歳 (5期) 鶴



5月臨時会において、議員皆様のご推挙を賜り、第33代議長に就任することとなりました。誠に光栄の極みでありますとともにその職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。

さて、国内では昨年の安倍政権誕生以来、アベノミクスと言われるデフレ脱却の経済政策が打ち出されました。「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」、いわゆる三本の矢という基本方針のもと、

景気回復に向けた試みがなされていきます。しかしながら、身近な実体経済においては期待されたほどの好景気感はなく、依然として先行きの不透明さは否めません。厳しい状況下での行財政運営に対し、チエック機関としての議会の役割を果たし、皆様の負託に応えられるよう一層努力してまいります。

今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

副議長 田部 井健二 61歳 (2期) 十三坊塚



5月臨時会におきまして議員皆様のご推挙を賜り、副議長に選任していただきました。

誠に身に余る光栄であると共にその職責の重さをひしひしと感じております。

東日本大震災から早2年4か月が過ぎました。被災地の復興は遅々として進んでいないようであります。

また、心無い政治家や官僚の言葉により、癒されぬ心を傷つけられた被災者の気持ちを考えると大変残念でなり

ません。政治家の言葉は、勇気や希望を与えますが、時には疑念と失望も与えます。町民からの負託を受けた私達議員は、自らの言動に責任を持ち、責務を果たしていかなければなりません。

議長のご補佐役として、議員皆様のご協力をいただきながら、町民皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。今後ともご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

新しい議会構成

5月臨時会において、各常任委員会等の構成が決まりました。

議会広報委員会

- 委員長 原 義裕
- 副委員長 松村 潤
- 委員 坂井 孝次
- 〃 半田 晴
- 〃 神谷 長平
- 〃 塩井 早苗

〔一部事務組合議会議員〕

- 東毛広域市町村圏振興整備組合議会議員 本間 恵治

邑楽館林医療事務組合議会議員

- 大野 貞夫
- 塩井 早苗

館林地区消防組合議会議員

- 田部井健二
- 松村 潤

大泉町外二町環境衛生施設組合議会議員

- 本間 恵治
- 小島 幸典
- 神谷 長平

議会運営委員会

- 委員長 小島 幸典
- 副委員長 半田 晴
- 委員 小沢 泰治
- 〃 岩崎 律夫
- 〃 坂井 孝次
- 〃 大野 貞夫

太田市外三町広域清掃組合議会議員

- 本間 恵治
- 原 義裕

可決された 議案

邑楽町赤堀
株式会社 徳川組

5月臨時会

専決処分の承認（邑楽町
税条例の改正）

専決処分の承認（邑楽町
都市計画税条例の改正）

専決処分の承認（邑楽町
国民健康保険税条例の改
正）

専決処分された条例改正
について、承認しました。

邑楽町防災行政無線施設
条例

東日本大震災を受け、災
害時に断線等が懸念される
屋外有線放送を廃止し、災
害に強い防災行政無線を設
置しました。

【契約の締結】

平成24年度石打町営住宅
新築建築工事2期工事

契約金額（消費税込）

2億1682万5000円

契約の相手方

〔人事案件〕

監査委員の選任

立沢稔夫さん（赤堀）を
選任することに同意しまし
た。

6月定例会

西邑楽土地開発公社経営
状況の報告

平成25年度事業計画・予
算及び平成24年度決算に関
する報告がされました。

邑楽町職員の給与の臨時
特例に関する条例

国家公務員の給与減額支
給措置を踏まえ、町職員の
給与の支給額を減額するた
め、特例条例を定めました。

邑楽町議会議員の議員報
酬の特例に関する条例

町職員給料の削減を踏ま
え、議員報酬を3%減額支
給する特例条例を議員発議
により定めました。

一般質問

一般質問は、6月13日及び14日に行われました。
質問には、7人の議員が登壇し、町の行政事務な
どについて執行部の考えをただし、活発な議論が
行われました。

少子化対策について

大野貞夫議員 少子化と言
われている。町だけの問題
ではなく、全国的な傾向に
あるが、町長の認識は。

町長 出生率の低下がある。
主な要因としては、未婚化、
晩婚化、働く女性の増加、
景気低迷による所得減等が
ある。町においても、昭和
50年代には年間の出生が3
00人を超えていたが、現
在では170人ほどである。
平成24年の全国の出生率が
1・41、県が1・39、邑楽
町は、1・21ということだ
大変危惧している。

大野貞夫議員 厚生労働省
の21世紀成年者縦断調査に
よると、結婚の割合は男性
の場合、最初の職が正規雇
用の場合66・7%。非正規
雇用は40・5%になる。女
性の場合も正規雇用の場合
は74・7%。非正規雇用は
59・4%。賃金については、
30歳代では1997年には
年収が500万円から69
9万円、この層が一番多
かった。ところが、200
7年には300万円台に落
ちてしまう。若い人が言わ
れているワーキングプア、

大野貞夫議員 この中に、
保育分野への株式会社参

年収200万円以下の人が、
1200万人になっている。
結局、こうした労働環境や
社会保障がどんどん低下し
ていることで、結婚したく
てもできない、子どもが欲
しくてもつくる余裕がない。
こうしたことが少子化に結
びついてきている。自然現
象でも何でもない。これは
国策のあやまりである。こ
れらを認識した上で、町の
少子化対策を考えていく必
要があると思うが。

町長 一自治体だけの対応
には、限界がある。国の施
策として、安心して産み育
てられるよう、また、その
ように上に向かって声をあ
げていく必要がある。

大野貞夫議員 昨年の8月
に子ども・子育て支援法な
ど関連3法が成立したが、
承知しているか。

町長 平成27年4月1日か
ら施行ということで、法律
が制定されたことは承知し
ている。

大野貞夫議員 この中に、
保育分野への株式会社参

入がうたわれている。今ままで、保育については、3本の柱で成り立っている。1つ目は、国と自治体の公的責任、2つ目は国庫補助による財源保障、3つ目は国による最低基準の遵守。ところが、新制度については変わってくる。最近、横浜市が待機児童ゼロ宣言を行った。保育園数、五百八十有数のうち、4割が株式会社である。全国平均は2%であるから、すごい数だ。この横浜方式を大いに広げていく必要があると安

倍首相は発言している。こういうことが着々と進んでいる中で、今後、町としてはどう考えていくのか。

施策の充実を図る

町長 この制度の求める究極の目的は、質の高い教育、保育がなされること。町民あるいは有識者の皆さんの意見を聞く中で、子ども達への充実を図るための施策を考えていきたい。



子どもは町の宝

邑楽町の

少子化対策について

坂井孝次議員 少子化が進むと、各種の社会保障制度と経済活動が崩壊する。そして、子どもが減る。日本

のように資源のない国で子どもが減らしたら、国際競争には勝てない。しかも子どもが欲しくても産むことができない。また産んだとしても育てていけない環境ができていない。この点について町長の考えは。

町長 産むことができないということは、経済的な環境と関係している。町としては国で定められた保育料徴収基準額表よりも低い保育料をいただいている。幼稚園の保育料も、かなり低額な月額5000円である。他にも、留守家庭児童等の児童館の保育料等については

はいただいていない。子育て環境については、それ相応の支援をしている。

坂井孝次議員 保育園の保

護者負担はどれくらいか。

福祉課長 全体での保育料は、平成24年度では9080万円ほどの金額をいただいている。これは町の保育料徴収規則の基準によるもので、2人目は半額、3人目は無料であり、それらも含めての金額である。

坂井孝次議員 幼稚園が約2000万円と聞いており保護者の負担は合計で約1億1000万円になる。数年かけて無料化に近づけるという考えが少子化対策には有効と考えるが。

町長 背景も十分配慮しながら、無料化については慎重に検討していかざるを得ない。

坂井孝次議員 産んでも育てていけない環境がないという意見がある。働く場所の確保については、現在どのように進められているか。

働く場所の確保に努める

町長 現在、農業振興から工業の振興に向かうべく、いろいろ協議をしている。働く場所の確保については、積極的に進めていくように努力していきたい。

坂井孝次議員 子どもを産みたくても産めない不妊症の問題がある。町ではこのような人々にどのような支援を行っているか。

保険年金課長 町では不妊に悩む方に、平成20年6月から特定不妊治療費助成事業として、費用の一部を助成している。助成金額は、保険診療適用外の検査費及び治療費の2分の1以内で、1年当たり上限は10万円である。これについては、通算5回が限度である。

坂井孝次議員 県内では、35歳から49歳の人産んだ子どもは、今年59人増えたという報道がある。子ども

が欲しいという人が少なくないことを示していると思う。しかし、最近では男性の精子が十数年前に比べ極端な減少傾向にあると言われている。結婚を機に男性の不妊検査の無料実施と不妊情報の提供、妊娠アドバ

行政運営について

イシステムの確認など、構築することも大事かと思うが、町長の考えは。町長 専門の機関、保健師等を通じて検討していきたい。

倉町までの59kmの東毛広域幹線道路が、平成26年9月に全線開通をするような知事の回答があった。邑楽町を通る車も当然増えてくると思う。通過交通だけでなく、経済の向上や、雇用の増大を生み出せるような政策を打ち出せる組織の確立が一番大切だと思う。早く町長に対応していただきたい。

能率、効率的な行政運営

町長 その時代に合った行政執行といことになれば、大変重要なことだと私自身も認識している。能率、効率的な行政運営ができるような機構について考えていきたい。

ていきたい。

原 義裕議員 環境がよくて災害が少なく、生活がしやすい町だと言われ、これこそが少子化問題等に絡んでくる。住宅地の開発、造成、工業団地の開発、誘致等が望まれる。このことが叶うなら人口減少の歯止めになる。

町長 人口の減少に歯止めをかけるには、産業の振興や企業誘致あるいは商業の集積等がある。残念ながら、町の土地利用計画は都市計画の中にあり、大変ハードルの高い部分がある。しかし、年を追って各年により、その制度の中身によっては、外すことができるようになる。いずれにしても、努力をして人口の減少に歯止めをかけ、産業の振興に結びつけていきたい。

町長及び行政執行部の情報発信について

原 義裕議員 これからは、先に手を挙げ自らの主張や町づくりの構想等を伝えることが、相手に行動を起こさせる。住民との接点が多くある住民課は、いろいろな情報が集まると思う

原 義裕議員 アンケートによると「住みやすい、自然環境が良い」と約80%の回答があったが、教育や医療、就業には非常に厳しいものがあつた。町長が協働の町づくりを目指しているが、住民の満足度がどの位あるか、具体的に数値で聞きたい。

住民課長 住民サービスの満足度調査は、特にしていない。電算化による検索や住民票・証明書等の発行を早く正確に行うことで、満足

町長 数値では上げられないが、多くの方が満足していると思う。他の市町に負けないような町づくりをし

たい。

原 義裕議員 邑楽町の位置は、首都圏から70km圏内で非常に立地が良い。町長のやる気、本気度、いかに旗振りをするか。町民との信頼感を持つことで、町は

が欲しいという人が少なくないことを示していると思う。しかし、最近では男性の精子が十数年前に比べ極端な減少傾向にあると言われている。結婚を機に男性の不妊検査の無料実施と不妊情報の提供、妊娠アドバ

イシステムの確認など、構築することも大事かと思うが、町長の考えは。町長 専門の機関、保健師等を通じて検討していきたい。

倉町までの59kmの東毛広域幹線道路が、平成26年9月に全線開通をするような知事の回答があった。邑楽町を通る車も当然増えてくると思う。通過交通だけでなく、経済の向上や、雇用の増大を生み出せるような政策を打ち出せる組織の確立が一番大切だと思う。早く町長に対応していただきたい。

能率、効率的な行政運営

町長 その時代に合った行政執行といことになれば、大変重要なことだと私自身も認識している。能率、効率的な行政運営ができるような機構について考えていきたい。

変わる。公約として、協働の町づくりを挙げて2年が過ぎたが、町民にどのような発信しているか。

町長 協働の町づくり活動の要綱を6月1日に告示し、参加の呼びかけをした。行政と地域あるいは団体が一緒にやって作っていききたい。

原 義裕議員 ぜひ、信頼関係を築き、打てば響くような行政運営を願いたい。先日の産業福祉常任委員会で、邑楽町の親善大使が決まり、紹介があった。ご好意だけでお願いし、甘えたのでは、いささかお粗末で

はないか。このような事では、本気度が見えない。観光振興の本気度を聞きたい。

邑楽町をPR

町長 観光のみならず、行政の仕事、全て真剣に取り組んでいる。観光大使については、ぜひ、邑楽町をPRしたいとの申し出があった。著名な方々の力を借りて、邑楽町からの情報発信や観光資源の有効活用をしていく。町名を正しく読んでもらえるよう努める。

町長 平成24年度に町内の団体が利用したホールの件数は、館林市文化会館が大ホール0件、小ホール0件。三の丸芸術ホールが3件で利用は講演会、音楽教室の発表会。大泉町文化むらが大ホール0件、小ホール1件でダンスパーティー。千代田町民プラザホールが1件でカラオケの発表会。太田市学習文化センターホールは3件で、ピアノの発表会。以上7つのホールで8件の申請があった。

中央公民館建設計画について

小島幸典議員 町の借金が約93億円で、町民1人当たり約34万円。臨時財政対策債も約54%入っているが、町の様々な事業に使う金がある。預金は財政調整基金が約18億円で、公共施設整備基金の約7億円等と合わ

せると約42億円くらいある。平成25年度の国民健康保険特別会計予算は、約29億9600万円で、前年度より約1億2660万円多い。国保税滞納額は、平成23年度は706世帯で2億8000万円あり、大変な問題

小島幸典議員 トータル8件で、町の数字から見ると大変低い。ということ、現時点、邑楽町では十分間に合っている。そういうことを考えた場合、国や県からの補助金がなく、15、16億円を出すならば、団体の

町長 平成24年度に町内の団体が利用したホールの件数は、館林市文化会館が大ホール0件、小ホール0件。三の丸芸術ホールが3件で利用は講演会、音楽教室の発表会。大泉町文化むらが大ホール0件、小ホール1件でダンスパーティー。千代田町民プラザホールが1件でカラオケの発表会。太田市学習文化センターホールは3件で、ピアノの発表会。以上7つのホールで8件の申請があった。

休憩室

REST ROOM



長谷川 英二
(前原・4区)

数年前から家庭菜園に取り組んでいます。農家の次男坊に生まれましたが、会社に勤めてからは農家の仕事は行っていないので、ゼロからのスタートでした。

最初の頃は失敗も多かったのですが、最近は少し上達してきたように思います。種を蒔き、小さな芽が出て大きく育ち、やがて花が咲き、実が付いてくるのを見ていると実に楽しいものです。

でも、収穫までにはいろいろな苦労もあります。肥料をやり、雨が少なければ水をやり、雑草も取らなければなりません。害虫から守るために防虫網をかけ、消毒は極力しないようにしています。栽培している種類は30種以上です。自分で育てたものは安全であり新鮮です。

孫と一緒にイチゴ狩りやサツマ芋掘りは、実に楽しいものです。これからも長く続けたいと思っています。

家庭菜園

使用料を町で負担してもよいのでは。この使用料は、近隣の町もある意味では援助になる。邑楽町が何年後かに造ったときは、他町の古い施設がなくなつて、邑楽町の施設を使つてくださると、お互いに相互利用でき、人事交流ができる。文化芸術も大事であるが、大きなホールがなくとも、明日の生活に困る人はいない。15、16億円の建設資金をどう工面するのか。

財政負担の 集中を避ける

町長 相互利用で他市町の施設利用が少ないから、十分間に合うのではないかとのことだが、中央公民館ができるまで、他市町の施設を積極的に利用していただくことは、大事なことである。邑楽町にホールがない以上、そうしないと一定の水準以上の催しはできない。中央公民館ができて、多くの収容人員を抱えた催し物は、議員が言われると

おり、限られた予算を考えれば、慎重に、その建設の部分についても検討委員会を検討している。建設資金は、現在でも基金の積み立てを行っていると理解いただきたい。財政負担が一期に集中することは避けるべきだということ、議員と同じ意見である。事前に

地域包括ケアシステムの 実現を

基金を積立てていくよう現在も努めている。同時に地方債等の活用をし、財政負担の平準化を図る。整備基金の利用は可能だと条例でも決められている。

その他の一般質問
・町内生活道路整備について

塩井早苗議員 介護保険制度が2000年に始まり、利用者が増え保険料が上昇する中で、この制度が維持できるのかという問題に直面している。厚生労働省の施策では、地域包括ケアの考えが主流となり、医師会も地域包括ケアシステムに取りかかろうとしている。官民一体となった取り組みが必要である。町の介護保険の現状は。

町長 第5期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいた中間年に入っ

ている。少子高齢化、核家族化、共働きといった社会構造の変化の中で、現実には家族だけで介護を行うことは大変難しい状況である。3月末の高齢化率は、24・33%で、介護保険の認定者は、976人であり、この状況は増加傾向にある。平成24年度の介護給付費は、15億5700万円を超える見込みで、毎年5%程度の増加を見込んでいる。

塩井早苗議員 地域包括ケアは、住みなれた地域で最

母からの贈り物

休憩室

REST ROOM



白戸 留美子
(石打・20区)

郷里である青森からできて30年になりますが、結婚する私に母が持たせてくれた中に、着物が3枚ほどありました。母の時代は、何枚もの着物が普通に用意されていたので、娘の私にも思ったのでしょうか。しかし、長男や長女の入学式に着たぐらいで、筆筒の肥やしとなっています。

母は、我が家の長男の結婚式の時、遠い青森から着物をリフォームして縫ったドレスで出席してくれました。以前、着なくなった着物を生地にして、これで洋服を作りなさいと送ってくれました。ちよつと面倒だなと思つてしまいました。が、縫い終えると、母が傍にいますように感じられ、あたたかい気持ちになりました。

もう50代半ばになる私ですが、日々過ぎていくほどに、親への感謝が深まりゆかのです。

邑楽の町は、そんな心にしてくれる優しい町なのです。

後まで自分らしく暮らしていくことを実現する考えである。たとえ寝たきりになっても、様々な制度やサービス、ボランティアの助けを借り、自分自身の生き方を自分で決める「自律」と「自立」で、人間の尊厳を支援していくことがあるべき姿だ。介護力は家庭によつて様々で限界もある。きれいな事では済まされない現実がある。住みなれた地域で最後まで暮らすことを実現するには、地域のニーズの把握が必要。抱える課題を把握した後、解決に向けた基盤整備を行い、ネットワークを構築する必要がある。最近のニーズ調査の結果と現行サービスに対する満足度、また、今後のアンケート調査の予定は。

町長 在宅を支えるため、町では地域支援事業として介護予防を主として行っている。1次予防事業として「ふれあいサロン」「みちくさの広場」「ますます元氣教室」等。2次予防事業として基本となるチェックリストの把握。具体的に様々

なメニューを用意しているが、参加される方が少ない。事業の重要性を理解し、参加していただくことが必要。平成26年度を目的にアンケート調査も行う計画がある。満足度については健康管理、健康づくりへの支援、介護施設の設備充実、介護者の負担軽減ということがかなり高く要望としてある。町の介護保険事業の充実に向けて取り組んでいきたい。

塩井早苗議員 グループホームや高齢者賃貸住宅の

減免措置と町の医療・介護保険の将来ビジョンは。

十分対応できるよう検討する

町長 減免措置については、指導機関と検討していく。高齢者の尊厳と自立の尊重を基本とし、施設や居宅サービス中心のケアだけでなく、医療や介護、生活支援など様々なサービスを提議できる体制が必要だ。地域包括ケア体制づくりに十分対応できるよう検討する。

町長はなぜ中央公民館建設をいま強行するか

小沢泰治議員 全町民の代弁者として議会に送らせていただき、公の場で町の姿勢をたたく、そういう機会をいただき本場にありがたく思っている。まず、なぜ今の邑楽町でホールつきの中央公民館建設をこの時期に強行しようとしているの

か。明快な思いを聞きたい。**町長** 昭和62年の第三次総合計画以来、25年間にわたって総合計画に位置づけてきたというものであり、一言で言えば教育への投資だと思ふ。したがって、議員の皆さんにもご理解をいただき進めていきたい。

小沢泰治議員 施設はないよりあるほうがいい。第五次総合計画では、平成27年度中に町の人口を2万9000人にする構想が掲げられている。しかし、6月1日現在、外国人も含めて2万7433人、町長が就任してから年々人口は減っている。私が町の将来推計人口指数を計算してみた。2005年を100として、現在から20年後の2035年には、総人口で85・9%になる。また将来、町の中心をなす14歳までの年少人口の割合は、約30%少なくなり、生産年齢人口(15歳から64歳まで)は約19%減ってしまう。今より将来の人口が減ることは目に見えている。そのような中で、今でも高齢者が多いと感じていると思うが、65歳以上の老年人口が邑楽町では約2倍になってしまう。75歳以上の後期高齢者の割合は、約2・6倍になる。町長は行政のトップとして、

役場職員としてずっと見ていくわけで、十分理解している指数だと思う。そういう中、なぜ中央公民館建設を強行しようとしているのか。現実を直視し、将来を見て、何をすれば町民が幸せになれるか。町長はどのように考えているか。

建設を実現したい

町長 高齢者が毎日を元気で、健やかに生活していくために施設の利用もある。児童・生徒の皆さんも、それぞれの年代に応じて、中央公民館の有効な利用は図られるということの上で、ぜひ建設を実現していきたい。

小沢泰治議員 中央公民館建設検討委員会の件に入りが、社会教育委員会会議の答申があった。邑楽町公民館利用団体連絡協議会が実施した「利用者」へのアンケート結果について、検討委員会に話をかけた。現実に利用している団体の皆さんにアンケートをとれば、町長が目指すような結果は

町長が目指すような結果は

議会の動き

5月

- 14日 議会運営委員会、総務教育常任委員会
- 15日 産業福祉常任委員会、全員協議会
- 16日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 17日 西邑楽土地開発公社理事会
- 23日 第1回臨時会
- 28日~29日
全国町村議会議長・副議長研修会
- 29日~30日
群馬県町村議会議長会理事会・臨時総会
議長・事務局長研修会
- 31日 議会運営委員会

6月

- 3日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 4日 全員協議会
- 12日~18日
6月定例会
(本会議、議会運営委員会・各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
- 21日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 25日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 28日 館林地区消防組合議会
- 30日 邑楽消防団班対抗ポンプ操法競技大会

7月

- 1日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 4日 広報委員会編集会議
- 17日 東毛広域市町村圏振興整備組合全員協議会・臨時会
- 18日 産業福祉常任委員会、全員協議会
- 19日 広報委員会校正会議
- 26日 館林地区消防組合水防協議会

出る。邑楽町は人口約2万7000人、世帯数が9000有余あるが、町民に町の実情や東毛広域圏の公共施設、広域行政の中での相互利用など数字的に知っていただき、全世帯にアンケートをかけて判断を仰ぐべきだと思うが。

町長 現時点での思いとしては、中央公民館建設についてアンケートを徴するこ

とは、慎重に対応せざるを得ない。

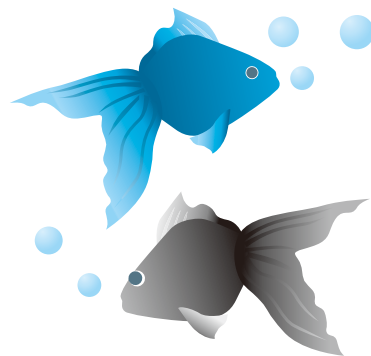
その他の一般質問

- ・ 工事が順調に進んでいる町道19号線について
- ・ 石打町営住宅について

意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書



議会を傍聴しませんか

次の議会は、9月10日から20日を予定しています。(開会は原則、午前10時)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様相を中継していますので、お気軽にご覧ください。議会の会議録(議事の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511 (内線300)

わたしのふるさと



【北海道札幌市】

伊藤 淳哉
(坪谷・22区)



さっぽろ羊ヶ丘展望台「クラーク博士像」

私のふるさは、北海道の札幌市です。
夏はビアホール、冬は雪祭りで有名な大通り公園、「少年よ大志を抱け」で有名なクラーク博士の像がある羊ヶ丘展望台（ジンギスカンもおいしい）、最近のタワー人気でいえば大通り公園の東端にあるテレビ塔（高さは147.2mと低いけれど）など見所はたくさんありますが、今回は札幌の子ども

なら誰でも一度は登る藻岩山もいわやまを紹介します。

藻岩山は札幌の南西にあり、高さが531mの小さな山で、私も遠足で登りました。冬はスキー場があり、スキー教室に参加したのも良い思い出です。

山頂からは札幌の街並みをはじめ、石狩平野や石狩湾など360度の展望ができ、昼間はもちろんのこと、北海道の3大夜景のひとつ（他の2つは、函館山、小樽天狗山）と言われており、夜の景色も絶景です。ふもとからは、ロープウェーで5分ほどで頂上へ行くことができます。観光自動車道があり、車でも山頂へ行くことができます。

北海道観光で札幌へ行ったときは、ぜひ足を延ばしてください。

編集 後記

うっとうしい梅雨が明け、例年通りの暑い夏がやって来ました。6月には、富士山と三

保の松原が世界遺産に登録され、大変喜ばしいことでした。次は、群馬県の富岡製糸場が世界遺産に登録されるか期待されています。

議会では、5月に臨時会が開かれ、議長、副議長の選挙や各常任委員会の構成等の人事案件がありました。6月定例会では、町職員の給与を削減する条例と議員自ら議員報酬を削減する条例が提出され、それぞれ原案どおり可決されました。

一般質問では、7人の議員が2日間にわたり、町の行政運営等に関して、熱心な質問と提案等を繰り広げました。

広報委員会では、ご愛読の皆様に関心を持って頂けるよう、委員一同一層の努力をしております。ご意見等がありましたら、ご一報ください。お待ちしております。
(原記)